



[本社] 〒870-0017 大分市弁天二丁目7番1号
TEL.097-537-5385 FAX.097-534-2781



[中津支店] 〒871-0004 中津市上如水1418番地
TEL.0979-32-6507 FAX.0979-32-8063



[福岡支店] 〒812-0042 福岡市博多区豊一丁目1番47号
TEL.092-473-1919 FAX.092-473-1929

日立特約店
柳井電機工業株式会社

<http://www.yanaidenki.co.jp>



柳井電機 CSRレポート 2019

私たちのCSR



柳井電機工業株式会社

CSR レポート発刊にあたって

- FOR PUBLISHING CSR REPORT 2019 -

トップメッセージ

- TOP MESSAGE -

日頃より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。さて、この度当社にとりまして 8 回目になる 2019 年度版 CSR レポートを発刊致しました。これもひとえに皆様方から頂きましたご厚情の賜であり、改めて感謝お礼を申し上げます。皆様におかれましては何かとご多忙の事と思いますが、何卒ご高覧下さいませようお願い申し上げます。今回のトピックスは、次の 3 点です。①これまで活動してきた CSR 活動について、SDGs との関連を検討・整理致しました。②今年度ベトナムの大学卒業生を新入社員に迎え入れました。③昨年改装しました本社事務所が第 3 2 回「日経ニューオフィス賞」で受賞致しました。

ところで、当社の CSR 活動は、準備段階を含めると着手から 10 年目に入ります。そこで、昨今の経済活動において、SDGs の達成に向けた取り組みが重要になっていることから、当社としても SDGs の達成に貢献できるよう取組みに努めることと致しました。先ず、これまで行ってきた CSR 活動を、ISO26000 の中核主題並びに SDGs の目標と対照・検討することから始めました。その結果、当社の CSR 活動は SDGs の 13 個の目標と 39 個のターゲットに該当する事を確認致しました。それぞれの活動内容は、CSR 委員会毎に SDGs のアイコンと共に掲載しました。尚、次年度からは、事業を通じた SDGs に関連する取り組みを検討し継続して行っていきます。そのため、これまでの CSR 委員会は、10 月 1 日付けにて下記のように組織改編を行います。

- 旧委員会名称 -		- 新委員会名称 -				
企業倫理	(企業倫理委員会)	⇒	公正な事業	⇒	公正事業推進委員会	6 名
人権労働	(快適職場委員会)	⇒	人権	⇒	ダイバーシティ推進委員会	7 名
安全活動	(安全活動委員会)	⇒	労働慣行	⇒	働き方改革委員会	6 名
品質向上	(品質向上委員会)	⇒	消費者課題	⇒	事業品質委員会	6 名
社会貢献	(社会貢献委員会)	⇒	コミュニティ	⇒	社会貢献委員会	6 名
環境保全	(環境保全委員会)	⇒	環境	⇒	環境委員会	6 名
BCP	(営業継続委員会)	⇒	〔取り組み内容をそれぞれ該当する委員会に引継ぎ、 2019 年 9 月 30 日を持ちまして解散致します。〕			

合計 37 名

今後も引き続き『企業の社会的責任』を全社員が認識し邁進してまいります。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

私たち『柳井電機工業株式会社』は、事業を通じて、社会の持続可能な発展に貢献するため、積極的に“企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility)”を果たしてまいります。

具体的には・・・

- ・はたらく従業員にとって良い「とりくみ」になるように。
- ・お客さまにとって良い「とりくみ」になるように。
- ・社会や地域の皆様にとって良い「とりくみ」になるように。
- ・地球環境にとって良い「とりくみ」になるように。

ステークホルダーの皆様の声を事業活動に組み込み、社会からの期待に応えられる企業を目指します。

柳井電機工業株式会社
代表取締役社長 柳井 智雄

当社の存在意義

- OUR COMPANY'S SIGNIFICANCE OF EXISTENCE -

柳井電機工業株式会社の使命は

『社会とお客様のニーズを先取りし、優れた製品・サービスを迅速に提供することで、お客様の生産性・快適性を向上させ、お客様並びに社会全体の幸せを追求すること。』です。

これからも全従業員が一丸となり、昨日より今日、今日より明日と毎日成長発展することで、更なる企業価値の向上を図っていきます。



企業統治

- CORPORATE GOVERNANCE -

関連する SDGs



『柳井電機工業株式会社』では、2006年10月より活動を行ってきた「コンプライアンス委員会」を進歩させた形で、2011年10月の大幅な組織改変に伴い今後は、“企業の社会的責任（CSR）”が企業活動そのものであることを念頭に置き、従業員一人ひとりが主体的に関わりながら、社会に対する役割を具体的に設定し、誠実に果たしてまいります。



会社概要

- COMPANY OVERVIEW -

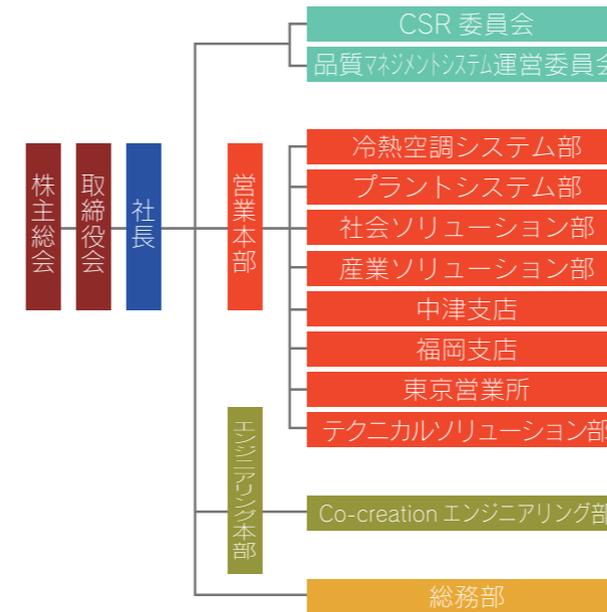
今年も台風による建物の崩壊、河川の決壊など自然災害が頻発した年でした。数十年に一度、また統計を取り始めて以来といわれるような自然災害が日本のあちこちで多発するようになってきたにもかかわらず、これらの災害を防ぐ事は未だにできず被災される方は後を絶ちません。

これら災害の原因としては地球温暖化が背景にあると思われませんが、この対策は日本国内だけでなく地球規模での対策が必要です。そのための一つの手法として、当社としては、これまでのCSR活動を広げ、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを加えることにしました。SDGsとは、2015年ニューヨーク国連本部での国連サミットで採択されたものです。今後は、このSDGsの達成に貢献できるよう一歩一歩前進してまいります。大きな目標への取り組みをはじめることになりますが、万が一にも被災された地域が発生した際には、これまで同様ライフラインの復旧、とりわけ生活用水としての水道設備の復旧に努めるなど、人命に直結することから優先順位をつけて、迅速な対応にて災害からの復興に貢献してまいります。

一方、産業界においては、さらなるCO₂削減が求められているだけでなく、少子化・高齢化を原因とする労働人口の減少が進んでおり、地域や業種によっては働き手が足りなくなっています。これらの問題に対し当社ではIoTやロボットの導入、また、蓄積したデータを活用することで生産性を向上させ、さまざまな問題解決のお手伝いをしてまいります。お客様のデータを利用してAIで分析・解析することでこれまで考えられなかったような効果が生まれてきます。これらの新たな価値を幅広いお客様に提供させていただくことにより、明るい未来の展望を切り開いていくことに引き続き貢献してまいります。

ところで、当社のCSR活動も準備段階を含めると着手してから10年が経過致します。当社が発行する本レポートについて、皆様から忌憚のないご意見を賜りたく、別紙にご記入の上、投函して頂ければ幸いです。頂きましたご意見は、今後のCSR活動やSDGsへの取り組みに活かしてまいります。よろしくお願い申し上げます。

■ 組織図



■ 事業内容

日立製品全般の販売及び計画から設計・施工及びメンテナンス、環境システム、情報通信システム、IoT、AI、ドローン事業、太陽光・小水力発電設備等、エンジニアリングの提供

■ 取扱設備

受変電設備、上下水道設備、太陽光発電設備、空調設備、昇降機、照明、情報通信関連機器、監視カメラ設備、機械器具設備工事、太陽光パネル監視管理システム（ドローン）、小水力発電、予兆診断システム、防災行政無線、IoT設備、AIシステム等

商号：柳井電機工業株式会社
 代表者：代表取締役 柳井智雄
 創業：1947年9月9日
 設立：1961年3月23日
 売上高：87億円（2019年9月期）
 社員数：149名

所在地：<本社>大分市弁天二丁目7番1号 〒870-0017
 TEL:(097) 537-5385
 <中津支店>中津市大字上如水1418番地 〒871-0004
 TEL:(0979) 32-6507
 <福岡支店>福岡市博多区豊一丁目1番47号 〒812-0042
 TEL:(092) 473-1919
 <東京営業所>東京都千代田区神田多町二丁目9番地14
 神田M.I.Cビル10F 〒101-0046
 TEL:(080) 6459-8035

CSR2019 トピックス

- TOPICS OF CSR2019 -

ISO26000・SDGs との対照と検討を行いました

今回、SDGs に取り組むにあたり、私共で出来る事から始めました。先ずこれまで実行してきた CSR 活動がどのように ISO26000 の 7 つの中核主題並びに SDGs の 17 個の目標に合致するのか？を見出す作業に取り組んだ結果が、今回の各委員会別に掲載した SDGs 表示項目です。

また、次年度からは事業活動そのものを通した SDGs に関する取り組みを検討し、これからも深く関わり合いを持って邁進してまいります。



柳井電機工業株式会社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

親日家が多いベトナムより初めて大学卒業生を迎え入れました

この度、当社の強みであるエンジニア増強を目指して、ベトナムの大学より、ソフトウェア開発のエンジニアを新入社員として迎え入れました。このように多様な価値観を社内に取り入れる事で、会社の成長につなげていきたいと考えており、ダイバーシティ経営に積極的に取り組んでまいります。



本社事務所が「ニューオフィス推進賞」を受賞致しました

ハード面だけでなく、新しく導入した文書管理ソフトウェアやテレワークなど自由な働き方を支援するソフト面においての“新しい働き方の仕組み”を取り入れたことも評価され、本社事務所が「ニューオフィス推進賞」を受賞いたしました。

今回の受賞は、日本経済新聞社とニューオフィス推進協会主催の第 32 回「日経ニューオフィス賞」の応募総数 132 件の中から選定されました。9 月 11 日に日本経済新聞社本社にて表彰式が行われ「ニューオフィス推進賞」を受賞したの続き、9 月 17 日には九州管内における九州・沖縄ブロックでの「ニューオフィス推進賞“九州経済産業局長賞”」を受賞致しました。これからも、積極的に質の高いコミュニケーションを図るなど、引き続き従業員が働きやすい「場」の進化に努めてまいります。

受賞に関しましてご協力頂きました全ての皆様に、改めて感謝お礼を申し上げます。また CSR レポートをお手に取っていただきました皆様におかれましても、お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り頂ければ幸いです。



環境保全

- ENVIRONMENTAL SAFEGUARDS -

関連する SDGs



『エコアクション21』の運用

私たちにも出来る環境への配慮として、2012年6月に環境省の“エコアクション21”を取得し、2018年4月に中間審査を行いました

今後も環境負荷の低減に向けEA21の運用を通して、社員が主体的に省エネルギー、省資源、廃棄物の削減等の取り組みを継続し、社会に貢献していきます

■ 環境に関する取り組み

E A 2 1 の理解を深める為、現場監督・技術関係の社員を対象とした油漏洩時の対策訓練や、緑化推進・環境保全の為の植林活動にボランティアとして参加しました。



◀ 本社 中間審査
(2019年4月11日・12日実施)



▲ 主催者：森林ネットおおいた 様
(2019年3月16日：県民の森) 社員7名参加



▲ 油漏れ対策訓練
(2018年11月9日) 社員7名参加



■ エネルギー使用量の見える化と削減

水 使用 量

フロア改修に伴い節水設備を取り入れた事で使用量は減少しています



2016年10月～2017年8月	985.4m ³
2017年10月～2018年9月	938m ³
2018年10月～2019年8月	652.6m ³

電気使用量



2016年度実績値 192,307kWh
↓
200,291kWh (速報値)
(目標値：190,384kWh)

燃料使用量

エコカーの導入を推進すると共に、今後もスマートドライブの意識を徹底します



	2018年	2019年
1月～3月	12.7km/ℓ (92台)	14.4km/ℓ (91台)
4月～6月	14.0km/ℓ (93台)	14.7km/ℓ (91台)
7月～9月	12.8km/ℓ (90台)	13.0km/ℓ (95台)
10月～12月	13.3km/ℓ (90台)	-



・今期はエコカー2台を導入 (左)
・WBGT 計を全社に設置 (右)



本社を改装し開放的なオフィスとした影響もあり電気使用量が目標値を超えてしまいました。あわせて WBGT 計を全社に設置しましたので、省エネと快適性を両立した効率の良い空調運用を目指していきます。

人権労働

- IMPROVEMENT OF WORKING ENVIRONMENTS -

私たちは、社員一人一人が心身の健康を保ち、ワークライフバランスの取れた働きがいのある職場作りを目指して、活動を継続しました

『CSR と人権セミナー』にて取組みを発表

2018年11月13日に経済産業省中小企業庁様・公益財団法人人権教育啓発推進センター様主催の「CSR と人権セミナー」にて地元企業の代表として当委員会委員長の林田が当社の取組みを発表しました



■ 休暇取得促進

2018年度では、50%以下になってしまいましたが、直近半年間にあたる、2019年度上期では目標を大幅に超えた、過去最大の

有給休暇取得率 **73.2%** を

達成しました

当社同規模企業（従業員100人～299人）の取得率全国平均47.6%からも大きく上回る結果となりました。

※厚生労働省調査 平成30年就労条件総合調査の概況より

これまでの取組の継続による社内意識の変革に加え、弊社初の試みとなる平日5連休取得を制度として推奨したことが要因と考えています。

更なる取得率向上に向け今後も取り組んでまいります。



関連する SDGs



■ イクボス宣言

委員全員が大分労働局様へイクボス宣言を行いました。ワークライフバランスを進めるうえでのリーダーとして宣言しました

【イクボスとは：部下や同僚などの育児や介護・ワークライフバランス等に配慮・理解のある人の事】

発言例

- 助け合う文化を構築し、皆で残業減に取り組みます！
- 私は楽しく仕事ができる雰囲気づくりに努めます！
- 私は定時以降に仕事の依頼はしません！
- 私は率先して職場に甘え定時退社を心がけます！
- 仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します！



■ パープルリボンプロジェクト

女性に対する暴力をなくす運動として初参画し、当社玄関口をプロジェクトの期間、パープルにライトアップしました



社会貢献

- CORPORATE SOCIAL CONTRIBUTIONS -

関連する SDGs



社会貢献を推進し、ボランティア活動を行うことによって、社会及び地域への貢献を行います

■ 会社周辺の美化活動

2018年10月～2019年9月

毎月第2水曜日 AM 7:45～8:15 (7月～9月は 17:15～17:45) の30分間会社周辺のゴミ拾い、草取りを行い地域美化に努めました。今期より中津支店でも活動を始め、

参加人数延べ **111** 名 (87+24) にご協力いただきました！

活動が定着してきており積極的な社員が増え充実した活動になっております。



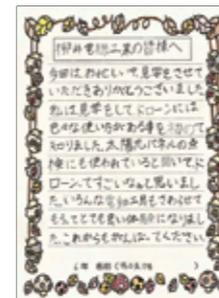
■ 学生体験学習

2018年11月27日 碩田学園6年生 15名
2019年9月10日～11日 碩田学園8年生 3名

碩田学園様より6年生と8年生を受け入れ、職場見学や体験をして頂きました。電動工具の実演やドローンの解説、CADの作図やポンプ・モーター整備の実習を行いました。

【生徒からの感想、アンケート】

- ・実際に作業の体験をして仕事の大変さや楽しさが分かりました
- ・「お客様から預かった修理品をしっかりと元に戻さないと行けない」という言葉が印象に残りました
- ・電動工具の体験が楽しかった



【生徒からのお礼状】

地域貢献として毎年継続していき、子供達に将来の夢を与えていきます



■ ボトルキャップ提供活動



ペットボトルキャップを碩田学園様へお届けしました

ペットボトルキャップ **71**kg
18人分のワクチンに相当

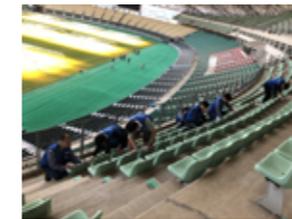
2013年より延べ **311**kg
78人分のワクチン相当量を提供しました。

■ 地域ボランティアへの参加



◀ 2019年7月25日
大谷ダムの草刈り、清掃ボランティア

▼ 2019年9月21日
昭和電工ドーム大分観客席の清掃ボランティア



大分トリニータ様社長と共に！

■ 赤十字献血活動

年間3回の献血を目標に実施しております



2018年11月1日 実施
参加者 42名中 33名
2019年2月13日 実施
参加者 24名中 22名
2019年7月1日 実施
参加者 44名中 39名

■ 防犯灯寄付・設置

町内の防犯灯全61灯のLED化が完了しました。来期は未設置箇所の解消に協力させていただく予定です。

■ 募金・寄付活動の実施

【歳末助け合い募金】 **¥32,488**

2018年12月～2019年1月実施



品質向上

- IMPROVED QUALITY -

当社の考える品質向上とは、安全・安心・高品質な製品及びサービスを提供する為に、従業員の教育・訓練に努めることであると考えますこれを達成する為の今年度における主な活動内容は次の通りです

■ 公的資格取得の推進

今期も継続して第一種・第二種電気工事士、電気工事施工管理技術検定、管工事施工管理技術検定などの資格試験や技能講習、特別教育の資格取得を推進しています。

【今期の合格者】



島田 誠也さん
2級電気工事施工管理技士



吉村 美保さん
2級電気工事施工管理技士



深井 慎司さん
第二種電気工事士



平塚 茂樹さん
第二種電気工事士



丸山 大貴さん
第二種電気工事士



大鶴 舞さん
第二種電気工事士

■ パソコンスキル向上研修開催

若手社員や希望者全員を対象に、パソコンスキル向上研修を開催しました。

タイピング毎分 200 文字
日本語ワープロ検定 3 級
コンピュータサービス技術評価試験 3 級
相当を目標としました



▲ 研修の様子



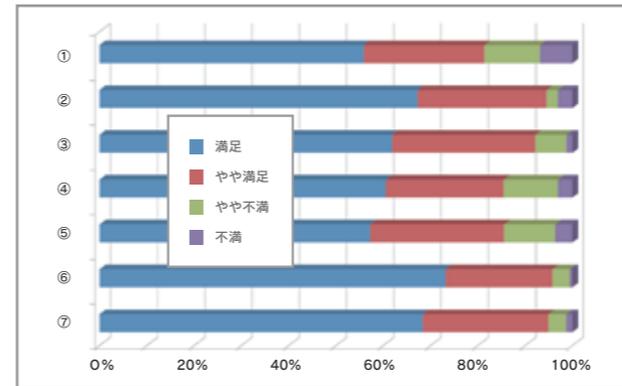
◀ タッチ・タイピング
手の位置

■ 顧客満足度アンケート

取引先約 500 社に向け顧客満足度アンケートを実施しました

「満足」の割合が最も低いのは、昨年に引き続き「訪問頻度」で「不満・やや不満」が 18.6% となりました。また、赤丸内の「やや不満」「不満」の割合は、昨年アンケート 回答に対し「訪問頻度」3.2%、「対応スピード」4.7%、「情報を適切に提供」4.2% の”改善”となり、全項目で改善率 3.2%~7.0% という結果となりました。ただし「やや不満」「不満」との回答を頂いている項目がある為、引き続き全社で改善に取り組んでいきます。

- ① 弊社社員の訪問頻度はいかがでしたか
- ② 弊社社員が訪問した際の挨拶・マナーはいかがでしたか
- ③ 弊社社員の商品・施工・修理に関する知識はいかがでしたか
- ④ お客様からのご依頼に対する対応スピードはいかがでしたか
- ⑤ お客様が必要としている情報を適切に提供できていますか
- ⑥ 弊社社員の電話対応はいかがでしたか
- ⑦ 弊社に来社された際の社員の接客態度はいかがでしたか



■ マナー講習会の開催

第7回マナー講習会「冠婚葬祭マナー」を2019年7月16日に行いました。今後も社会人として知っておくべきマナーについて学んでまいります。



マナー講習会の様子

【お客様の声】

- ・一部の社員の言葉使いが非常に悪い
- ・他社と比べて訪問頻度が少ない、来ない
- ・情報流出防止の為、名刺を机の上に置かないで
- ・新しいカタログ等が出ても持ってこない
- ・商品価格の問い合わせに対し、返答が遅い
- ・担当者とのコンタクトが取りづらい
- ・女性社員の電話対応はスムーズで良い感じですが
- ・突発対応をして頂き、ありがとうございます
- ・いつも助けてくれ、ありがとう

等々

安全活動

- SAFETY COMMITTEE -

関連する SDGs



「活動方針」

「安全」で「安心」な企業風土を構築し、地域社会に密着した信頼される業務を提供します

安全意識向上への取り組みを行うことで社内安全の確保に努めます

交通安全



交通安全街頭活動

大分県交通安全協会 大分中央支部 住吉分会の一員として交通事故防止に努め、ドライバーへの注意喚起と社員の交通安全に対する意識の向上を行っています。

『おこさず あわず 事故ゼロ』のスローガンのもと、
今期は15回活動し、130人が参加しました。

2012年9月の開始以来、毎回7:20～8:00に本社前で活動を行っており、

活動回数 **121**回
延べ **1000**人

がこれまでに参加しました。



運転前アルコールチェック



毎朝出勤時にアルコールチェックを行い、飲酒運転防止を図っています！

今期も業務中の飲酒・酒気帯び運転ゼロを達成しました。また、アルコールチェッカー3台の点検と部品交換をしました。
保有台数9台（うち予備機3台）

車両チェック

書類散乱による事故の防止と、きれいな車を意識させる為に、抜き打ちで全車両を対象にチェックを行っています。
今期は、車内の整理不良等が5台、車外の清掃不良等が9台みられました。



営業車へのドライブレコーダーの導入



万が一の事故に備えて、ドライブレコーダーの取付を進めています。
車輻接触事故に於いて、録画した映像が詳細な状況を知る貴重な手掛かりとなりました。
今期は新たに25台に取付けを行い、合計57台（取付73%）となりました。
今後も取付100%に向けて継続していきます！

企業倫理

- CORPORATE PHILOSOPHY -

関連する SDGs



当社は高い倫理観を持ち、法令順守を最優先に企業活動を行っています

私たちは法令や習慣、社会的ルールに則った企業活動を行い、信頼される企業を目指します
社員の意識・知識向上の為に、以下の活動を中心に企業倫理の徹底に取り組んでいきます

■ コンテンツの配信

コンプライアンス意識啓発のためのコンテンツをメール配信しています

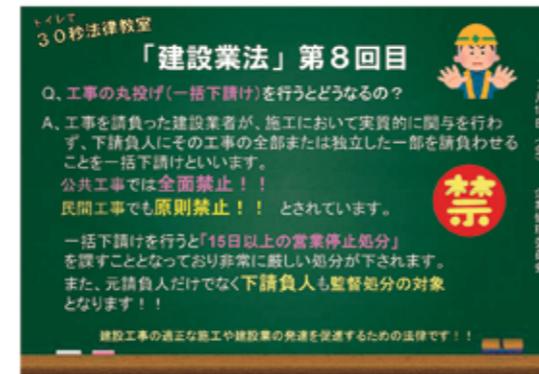
以下 2 件を配信しました

- 企業倫理が選ぶ平成の経済事件ランキング
- 社員インタビュー 不正防止に必要なものは〇〇です。

メール件名、内容を工夫することで興味を持って頂けるようにしています。

■ 啓発ポスターの掲示

法律の知識を中心に倫理意識の向上を目的としたポスターをトイレに掲示しています



今年度は建設業法について 計 6 回更新しました。

■ モラル強化月間

より一層の企業倫理の徹底と社会的責任の推進を図るべく、6月～9月を強化月間と定め3つの活動を行いました

① コンプライアンス勉強会

2019年6月12日株式会社日立製作所様より講師を招いて勉強会を行いました。

独禁法遵守、贈収賄防止、ソーシャルメディアを利用する際の心構えとリスクについて学びました。

② コンプライアンス標語の募集

啓発のための標語を募集し、表彰しました。
応募総数 56 首

- 金賞** 総務部 黒澤 淳也 さん
『令和から新たにとどける『柳井力』
法令遵守で社会に貢献』
- 銀賞** プラントシステム部 小野 佑一 さん
『令和に変われど 変わらぬ法令
揺るがぬ心で法令遵守』
- 銅賞** 社会ソリューション部 梶原 菖太 さん
『悪い事 知らないふりは 同じ事』

社員の意識が高まるような標語が多くありました

③ コンプライアンス行動基準の読み上げ

2019年6/17-9/30の期間、委員会メンバーが月、水、金曜日にコンプライアンス行動基準を Chatter (社内 SNS) にて配信しました。

【配信例】

私たちは、公正に取引先を選定します。
個人の利益の為に特定の仕入先に対し特別な対応は行いません。
このため、納入業者等の直接取引関係先との接待は常識の範囲を超えて行いません。

【仕入先の選定は適正ですか？

接待は事前稟議で適正に行いましょう！】

【配信例】

みずから守る 道徳と 規範に従い まず一歩



コンプライアンス勉強会

BCP (事業継続計画)

- BUSINESS CONTINUITY PLANNING -

関連する SDGs



【活動方針】

大地震、津波等の甚大な被害をもたらす災害が発生した場合、当社の従業員とその家族の安全確保、近隣被災地の復旧・復興支援や、当社のお客様の事業を早期に再開するための支援等を行い、当社事業を早期に再開するための活動を行うことを重要事項とします

■ 非常用発電機設置

本社に非常用発電機を購入・設置しました

125 kVA 発電機
タンク 190ℓ



災害による停電時に発電することで、業務の早期復旧や社員の避難場所としての利用等が可能になります。

■ 中津支店防災避難訓練

中津支店にて第2回目の防災避難訓練を実施しました



2019年9月24日
(10名の中津支店社員に参加いただきました。)

■ 安否確認訓練メール

定期的に緊急時の安否確認の訓練メールを配信しています。
(30分以内の返信率)

2017年3月11日	92%
2018年3月12日	80%
2019年3月11日	76%

返信率が年々低下しています
返信率向上に向けて、
訓練内容充実に努めます。

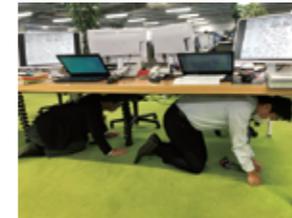
又、メールの未到達が増えてきたので、アドレスの確認・更新を実施しました。

■ シェイクアウト訓練参加

大分市シェイクアウト訓練に全社員で参加しました

2019年9月2日

シェイクアウト訓練とは、指定された日時に地震から身を守る「安全行動」を、各自がそれぞれにいる場所で1分間程度一斉に行う訓練です。



■ 防災備蓄品の追加購入

水の備蓄量倍増を目標に備蓄水の追加購入を行いました

今後も継続的に増やしていきます。

2L × 300本



■ 防災情報発信

防災に関する情報のメール発信を4回行いました。

◆ 配信内容 ◆

水を備蓄しましょう
モバイルバッテリーについて
防災グッズの紹介 (ライト編)
防災グッズの紹介 (耐震マット編)

